

平成30年（2018年）12月期第2四半期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
 代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 研三
 問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 三宅 富士夫
 : (TEL) (06) 7635-1624

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

	当第2四半期累計期間 (平成30年1月～平成30年6月)		前第2四半期累計期間 (平成29年1月～平成29年6月)*		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	68,445	-	64,207	-	+4,237	+6.6%
営業利益	2,069	3.0%	1,946	3.0%	+123	+6.4%
経常利益	2,193	3.2%	1,992	3.1%	+200	+10.1%
四半期純利益	1,563	2.3%	1,391	2.2%	+171	+12.3%

(注) 当社の連結子会社は、可樂麗貿易（上海）有限公司の1社となっています。

(2) 単体経営成績（累計）

	当第2四半期累計期間 (平成30年1月～平成30年6月)		前第2四半期累計期間 (平成29年1月～平成29年6月)*		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	増減額	増減率
売上高	67,711	-	63,560	-	+4,150	+6.5%
営業利益	1,833	2.7%	1,712	2.7%	+121	+7.1%
経常利益	1,922	2.8%	1,769	2.8%	+152	+8.6%
四半期純利益	1,361	2.0%	1,227	1.9%	+134	+10.9%

*平成30年1月1日付で、旧クラレリビング株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。親会社（株式会社クラレ）におけるセグメント情報等の開示との整合性の観点から、平成29年第2四半期の金額には、旧クラレリビング株式会社の金額を含めて記載しております。

2. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年6月30日）における世界経済は、拡大基調が続きました。当社が注力するアジア市場においても、中国では設備投資や個人消費が牽引し景気拡大が続いており、韓国・台湾でも景気は緩やかに回復しています。

国内経済は、輸出や生産の拡大などにより堅調に推移しましたが、消費は依然として力強さに欠ける状態が続きました。

このような環境の下、当社は「アジアでの業容拡大」「繊維事業の収益拡大」を積極的に推進しました。

以下< >中の名称は(株)クラレの商標です。

【繊維関連】(売上・利益とも横ばい)

売上高 2 2 5 億 3 千万円。

(衣料分野)

- スポーツ分野は、主要取引先との取組み推進により、テキスタイル・縫製品とも順調に推移し増収となりました。
- ユニフォーム分野は、企業別注向けが堅調に推移しましたが、サービス用途が伸び悩み、微減収となりました。
- ファッション分野は、婦人衣料及び中東向けが市況低迷の影響を受け、減収となりました。
- 原糸販売では、海外向けの高機能原糸の新規採用が進みました。
- 縫製品ビジネスは、ベトナム主力協力工場の生産量が拡大し、順調に販売を伸ばしました。

以上の結果、衣料分野は売上・利益とも前年並みとなりました。

(資材分野)

- 生活資材は、不織布の販売が拡大しましたが、一部用途のテキスタイルの販売価格低下により、減収となりました。
- 産業資材は、ビニロンを中心に堅調に推移しました。
- 人工皮革<クラリーノ>は、概ね前年並みに推移しました。

以上の結果、資材分野は売上・利益とも前年並みとなりました。

【樹脂・化学品・化成品関連】(増収、増益)

売上高 4 5 9 億 2 千万円。

- アジア向け輸出を中心に好調に推移しました。

(2) 平成 30 年 12 月期の連結業績予想(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

当社の経営環境は、中国を始めアジア新興国等の景気減速懸念、保護貿易政策をめぐる各国の対立による影響、原燃料価格の上昇リスクなど先行きは不透明であると認識しております。

このような環境下、新中期経営計画『PROUD 2020』における当社の戦略である「アジアでの業容拡大」、「繊維事業の収益拡大」等に努めてまいります。

尚、2018 年度計画における主要事業戦略は以下の通りです。

- アジア向け販売の拡大に向けた海外拠点の機能強化
- 繊維関連事業における開発力と販売展開力の強化

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
年初公表	1, 350	45	45	30
今回公表	1, 350	45	45	30

<注記>上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上